

Motion Studio
What's new
Version 2.16.12

目次

1. OVERVIEW.....3

2. WHAT'S NEW.....4

2.1. Open stereo images.....4
2.2. XDR mode.....6
2.3. Multi-Camera Live.....7
2.4. Memory allocation when a sequence is played back.....8
2.5. Time Stamp.....9
2.6. Advanced image configuration.....10
2.7. Select acquisition segment.....11
2.8. Miscellaneous.....12

Copyright © Integrated Design Tools, Inc.
The information in this manual is for informational purposes only and is subject to change without notice. Integrated Design Tools, Inc. makes no warranty of any kind with regard to the information contained in this manual, including but not limited to implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. Integrated Design Tools, Inc. shall not be liable for errors contained herein nor for incidental or consequential damages from the furnishing of this information. No part of this manual may be copied, reproduced, recorded, transmitted or translated without the express written permission of Integrated Design Tools, Inc.

1. Overview

この文書は、Motion Studio の各バージョン間で GUI に追加・改善・変更された内容を、簡潔にまとめたものだけを記載しています。

2. What's new

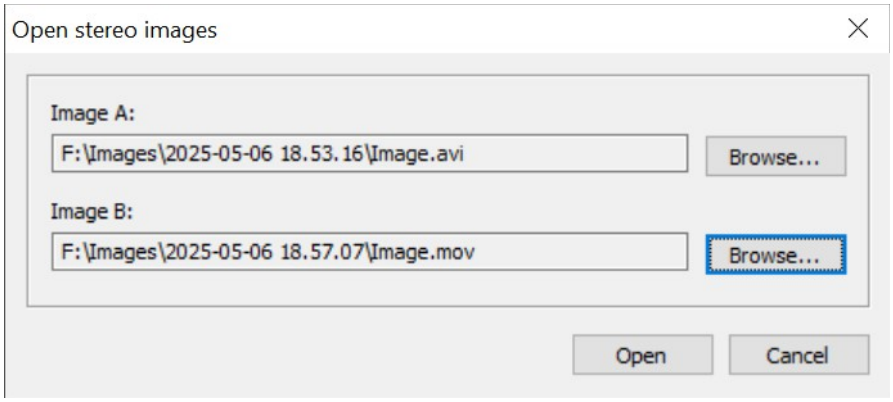
2.1. Open stereo images

「Image Tile Utility」は Motion Studio パッケージから削除されました。

ステレオ画像は、現在では Motion Studio 内で直接開くことができます。

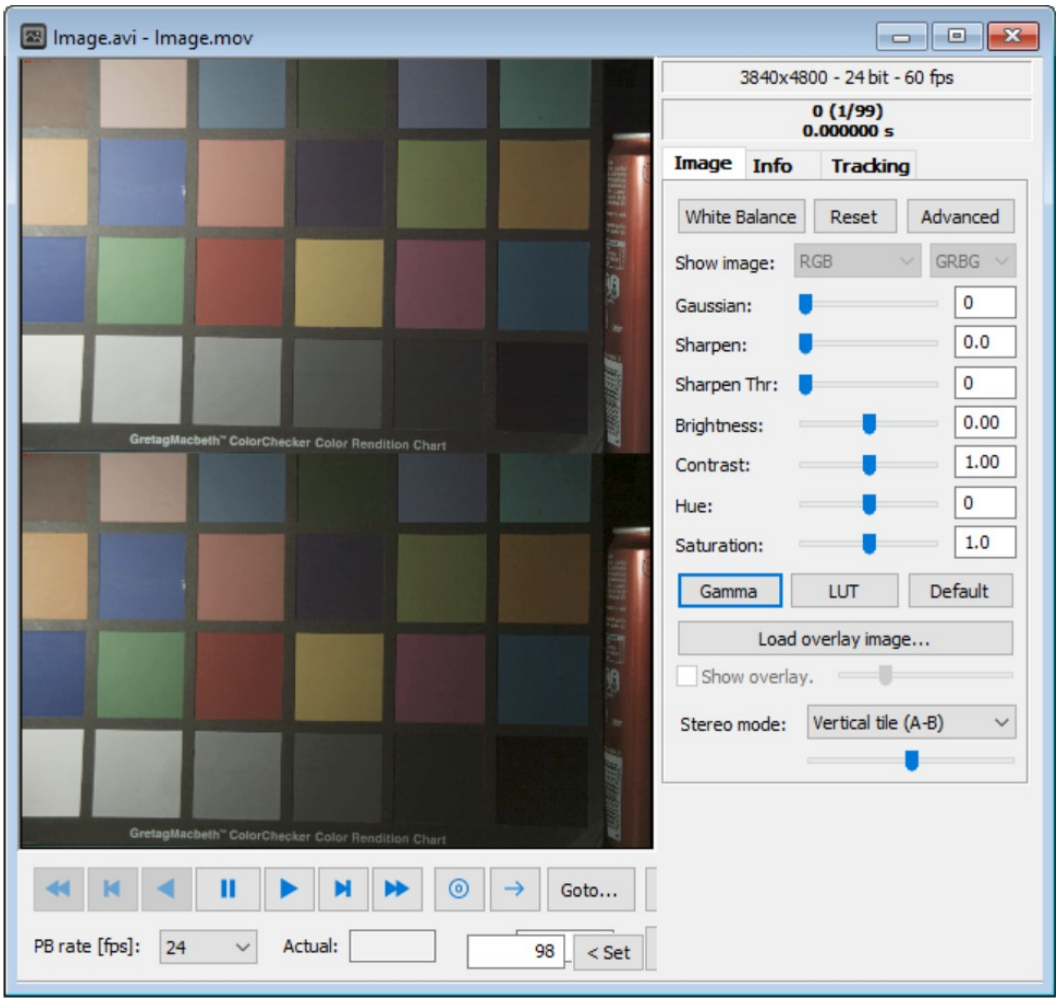
メインメニューから File > Open > Stereo Images を選択してください。

すると、下記のダイアログボックスが表示されます。



「Browse」ボタンをクリックして、2 つの画像または動画のシーケンスを選択します。
各シーケンスは、同じピクセル深度（モノクロまたはカラー）である必要があります。

「Open」をクリックすると、画像が開きます。



ステレオ画像は、以下の方法で表示できます。

- Horizontal tile：左右に並べて表示します。

  Vertical tile：上下に並べて表示します。

  Anaglyph：カラー画像にのみ適用されます。
  1 枚の画像から赤チャネルを、もう 1 枚の画像から緑および青チャネルを取り出して合成します。

  Sequence：シーケンス A の 1 フレームと、シーケンス B の 1 フレームを組み合わせて表示します。

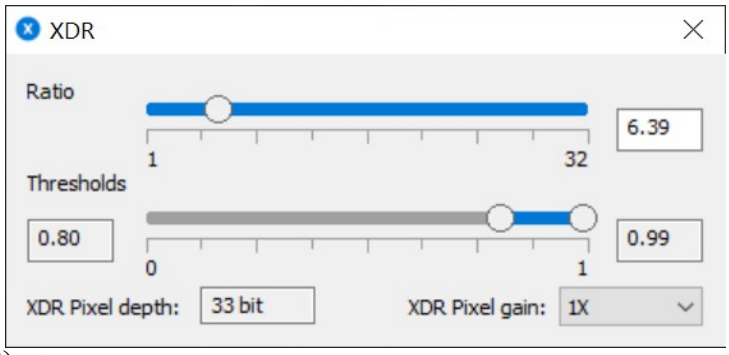
  Superposed：2 枚の画像を重ねて表示します。
  この場合、画像 A と画像 B の相対的な不透明度をスライダーで調整できます。

2.2. XDR mode

XDR は eXtended Dynamic Range（拡張ダイナミックレンジ） の略称です。
これは、非常に明るい領域と暗い領域の両方のディテールを同時に記録できる特殊な撮影モードで、高速撮影における典型的な課題（高コントラスト環境での白飛び・黒つぶれ）を解消します。

XDR モードでは、カメラのセンサーが 「デュアルエクスポージャー」 として動作し、各フレームごとに異なる露光設定で 2 種類の記録を同時に取得します。
1 つはハイライトのディテールを保持するための露光（明るい部分の白飛び防止）、もう 1 つはシャドウのディテールを強調するための露光（暗部の視認性向上）です。

XDR を有効にするには、Camera タブ内の Exposure mode で XDR を選択してください。



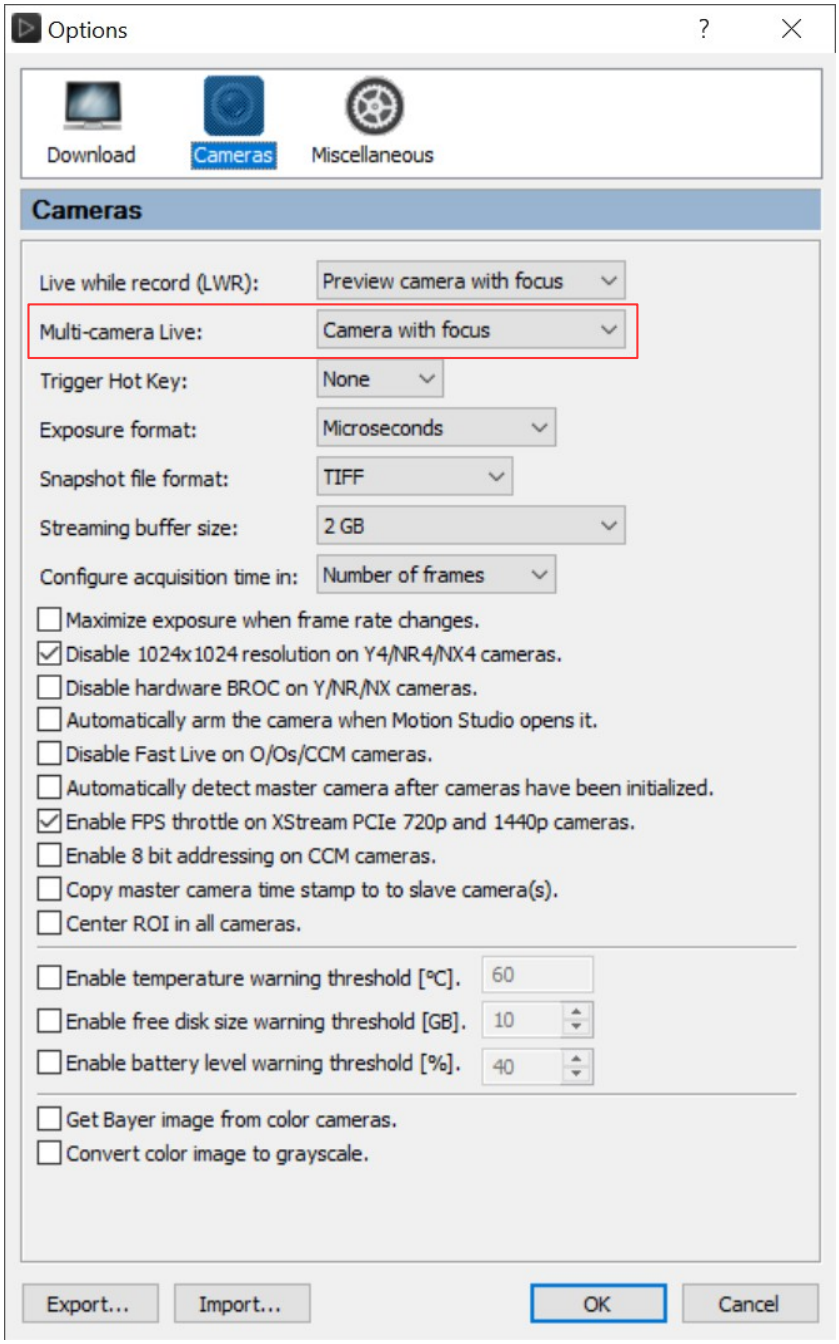
Ratio（比率）：
このスライダーは、デュアルエクスポージャー時に使用される 2 つの露光の比率を調整します。

Upper threshold（上限しきい値）：
この設定は、長い（明るい）露光に対するクリッピング境界を定義します。
ピクセルの輝度値がこのしきい値を超えると、ソフトウェアはその領域が白飛びしていると判断し、該当ピクセルを短い（暗い）露光側のピクセルデータに自動的に置き換えます。

Lower threshold（下限しきい値）：
露光を「完全に切り替える」方式では、境界が不自然で目立つため、このしきい値はクロスオーバー領域を設定します。
指定された輝度範囲内では、ソフトウェアがグラデーションアルゴリズムを用いて両方の露光データを滑らかに補間・合成します。

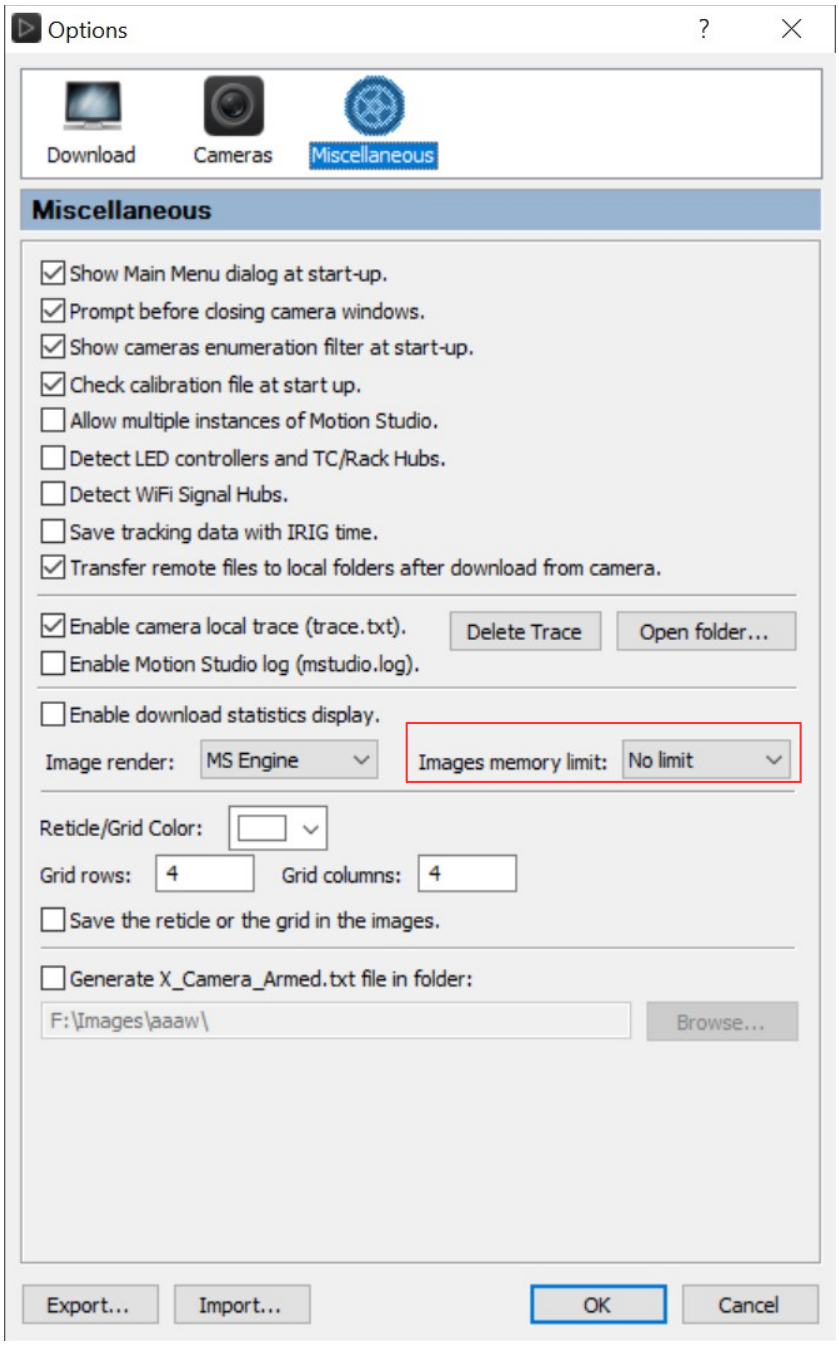
Pixel gain（ピクセルゲイン）：
XDR 画像ではピクセル深度が拡張されているため、ユーザーは元のピクセル深度のどの部分を抽出して表示するかを選択できます。

2.3. Multi-Camera Live



マルチカメラ環境では、ライブビューをすべてのカメラで実行するか、フォーカスしているカメラのみで実行するかを選択できます。
この設定をフォーカス中のカメラのみとした場合、フォーカスされていないカメラからはライブ画像が読み込まれず、対応するサムネイルも更新されません

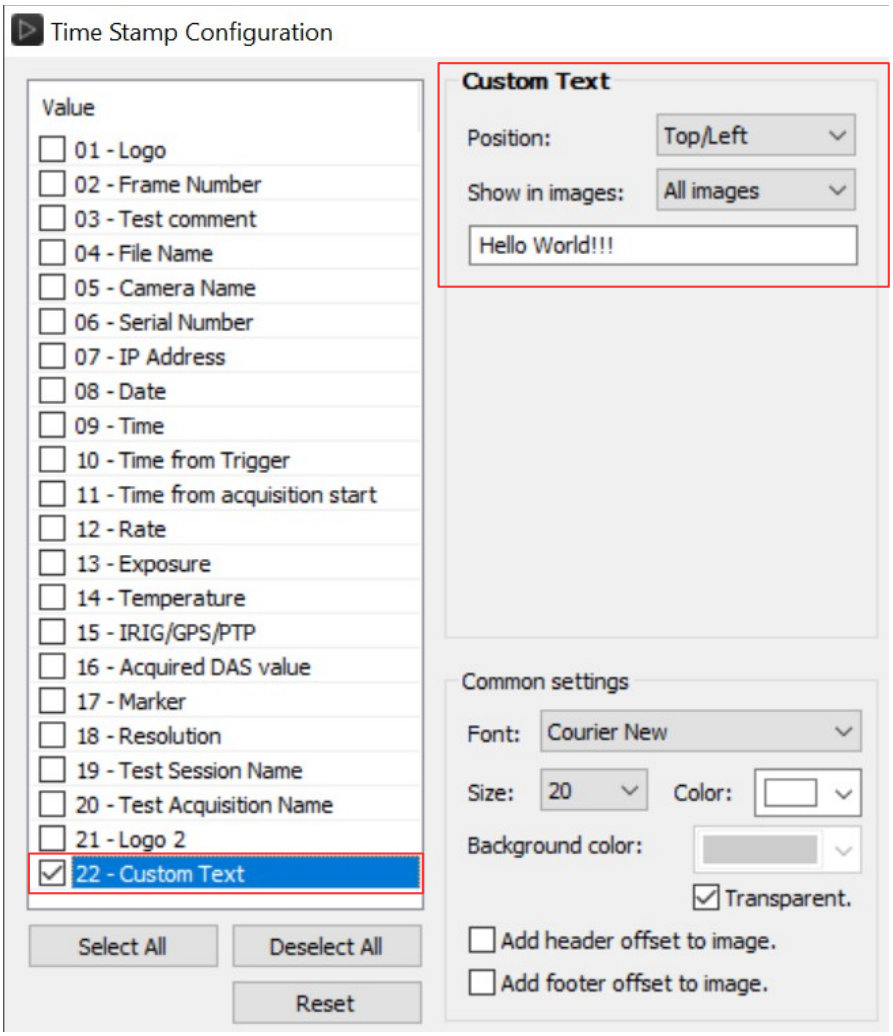
2.4. Memory allocation when a sequence is played back



ユーザーは、画像シーケンスを開いて再生する際に割り当てるメモリの最大量を選択できます。
デフォルト値は 「No limit（制限なし）」 です。

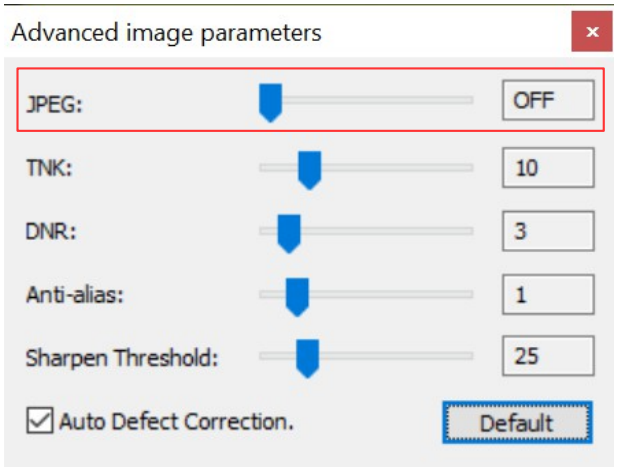
2.5. Time Stamp

タイムスタンプに新しいカスタムテキストオプションが追加されました。
ユーザーは、タイムスタンプ内に任意のテキストや情報を自由に挿入できるようになりました（下記参照）。



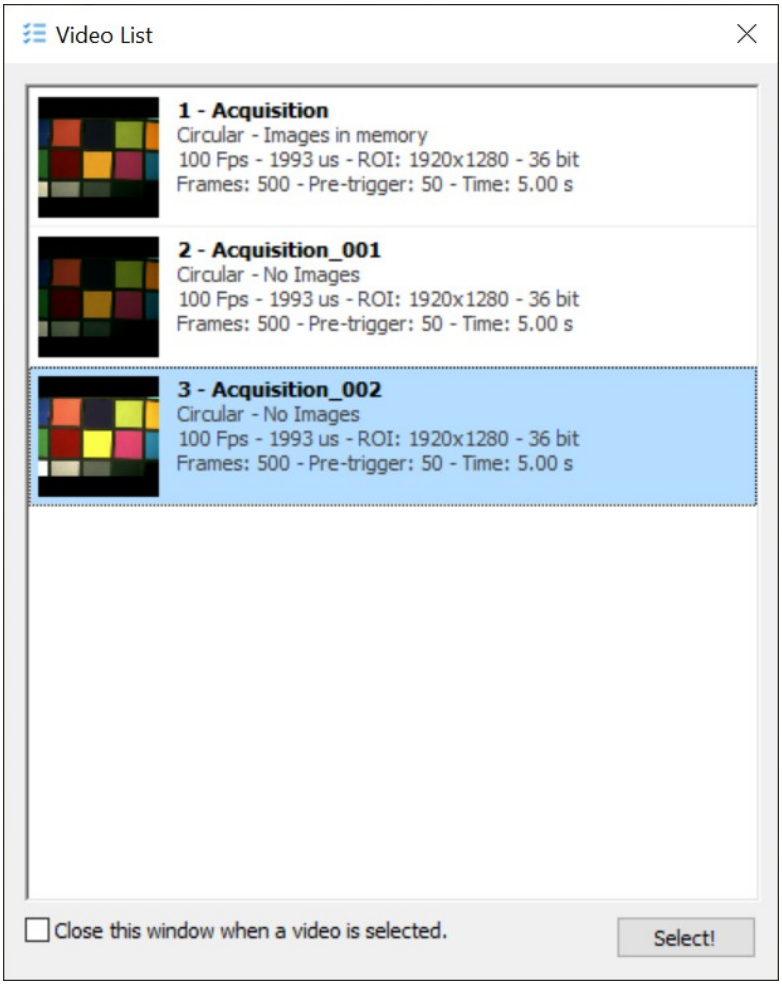
2.6. Advanced image configuration

JPEG/H264 の圧縮設定は、カメラバー内の「Image」タブから削除され、「Advanced」カメラ設定ダイアログボックスへ移動されました（下記参照）。



2.7. Select acquisition segment

複数のセグメントがカメラの DDR または SSD に設定されている場合、ユーザーは「Acquisition selection」 ボタンをクリックすることで、そのうちの 1 つをアクティブにできます。



セグメントをアクティブ化するには、リストから選択し、「Select!」 をクリックするか、項目をダブルクリックします。.

2.8. Miscellaneous

- TCII レコーダーおよび Offline XSL プロセッサーのサポートを追加しました。
- OSII-60XX カメラのサポートを追加しました。
- 16bit PNG ファイルのサポートを修正しました。
- 自動化機能を改善しました。
- Nx カメラが GPS モードで、かつ信号がロックされていない場合に、Motion Studio が新規録画を開始しないようにしました。
- ダウンロード時の AVI 生成処理を Motion Studio から「Raw Converter」へ移動し、新規録画開始前に Motion Studio がフリーズする問題を防止しました。
- カメラ設定に Master/Slave ステータス情報を追加しました。保存された設定を読み込むと、ソフトウェアがこの動作モードを自動的に復元します。
- 「Download images after acquisition and restart N times」オプションを、ストリーミングセッションにも適用できるよう拡張しました。
- Motion Studio の再起動およびカメラの再起動後に、レンズ設定の保持を改善しました。
- 2.5GE CCM カメラのダウンロード速度を改善しました。